

## 2025年3月15日 八ヶ岳 小同心クラック

メンバー L谷内、村中

天気予報では朝方まで晴れ、午前中は曇り、午後から雪となっていました。実際の天気もおおむね予報通りでした。

駐車場に到着したときは、高曇りの状態で、周囲にはほとんど雪がありませんでした。赤岳鉱泉で登攀具とアイゼンを装着。気温はそれほど低くなく、風もなかったため、シャツとフリースのみで行動を開始しました。

大同心沢から大同心稜に入り、周囲の山々を眺めながら樹林帯を抜けました。大同心基部から小同心の取り付きまでは、一部がクラストしていたためロープを使用してトラバース。とはいえ、ダブルアックスを必要とするほどの悪路ではありませんでした。

1ピッチ目は谷内Lがリード。途中のチムニーでは、奥に入り込みすぎてしまいましたが、リーダーの指示で右足を外側のステップに置き、なんとかクリアしました。2ピッチ目(約20m)は村中がリード。最初の急斜面を抜けると傾斜は緩やかになりましたが、微妙に氷がついていて思うようにスピードが上がりません。3ピッチ目も谷内Lがリード。左ルートを選択しましたが、登り始めが急で少し苦戦しました。恐怖心から体が自然とチムニーの中に入りがちでしたが、リーダーの「もっと体を外へ」という指示で視野を広げると、いくつか手頃なホールドを見つけることができました。こうしてようやく小同心の頭に到着。その後、大同心の頭まではしばらく同時行動を続け、最後の1ピッチを村中がリードして横岳山頂に到達しました。

当初は大同心稜を下降する予定でしたが、雪面がクラストして危険と判断し、硫黄岳を回るルートに変更。横岳山頂から雪がちらつき始め、硫黄岳手前では本格的な降雪に。しかし、視界はそれほど悪くなく、安全に下降することができました。赤岩の頭を15分ほど下った地点で装備を解除し、チェーンスパイクを装着。そのままほぼ休憩なしで駐車場へ。到着時には駐車場にも10cmの新雪が積もっていました。

### コースタイム

5:30 美濃戸駐車場 - 7:00 赤岳鉱泉 - 8:30 大同心基部 - 9:20 小同心クラック取り付き - 11:00 小同心の頭 - 11:35 横岳山頂 - 12:35 硫黄岳山頂付近 - 13:45 赤岳鉱泉 - 14:40 美濃戸駐車場



